

# チーム えがお

【学校教育目標：たくましく生きる児童の育成】  
 ・やさしい子 ・考える子 ・元気な子 ・やりぬく子



発行者：校長



岡田 達也

～ えがお かがやき かんばる 学校 おうえんだん 「チーム北川」 ～

## 学芸会 本番まで あと4日!

先週末の学芸会に向けて、練習や準備も大詰めです。教室から体育館へと移動する子どもたちは、学芸会の衣装をばっちり身につけ、やる気満々です。教室や音楽室からは、台詞や合唱の声、合奏の音色が響いています。学校中、学芸会一色といった感じです。

子どもたちは毎日、自分の役作りをしたり、衣装や小道具等を制作したりと一生懸命学芸会に向けて頑張っていました。何よりも劇や合奏の練習を重ねるごとにどんどん上手になり、堂々と体全体で表現するようになってきました。学芸会テーマ『学芸会でみせますよ 124色の北川魂!』のごとく、一人一人の子が輝いてほしいと願っています。本番は、保護者のみなさんの大きな拍手で盛り上げていただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。この学芸会を子どもたちが充実感をもって終わることができるよう、残りの練習期間を悔いのないよう過ごしていきたいと思ひます。



## 5年生 地域のみなさんと一緒に「脱穀」をしました!



17日(火)の2校時から、北川公民館や老人クラブのみなさんのご指導のもと、5年生は先日刈った稲の脱穀を行いました。脱穀は、今では使われなくなった「千刃こき」という道具や、「足踏み脱穀機」、「唐箕(とうみ)」という道具で行いました。そのあと、ハーベスターを使った脱穀も体験しました。子どもたちのために、前日の準備から当日の運営等、地域のみなさんにはたいへんお世話になりました。

子どもたちは、初めて目にする農具に興味津々でした。「千刃こき」は、櫛のような刃に稲藁をはさみ、引っ張ることによって籾と藁を分ける仕組みになっています。「足踏み脱穀機」はそれを能率よく行うために、足踏みによって刃を回転させる仕組みです。そして、脱穀された籾には藁くずや、実の入っていないものが混じっていますが、それを取り除くのが「唐箕」です。「唐箕」は手回しの風車によって、藁くずや実の入っていない籾を吹き飛ばす機械です。

こうした体験ができるのも、公民館や老人クラブをはじめ地域のみなさんのおかげです。保護者のみなさんもお手伝いに来ていただきました。おかげで、貴重な体験を安全に行うことができました。心よりお礼申し上げます。



今回脱穀したもち米を使って、11月29日(日)の北川地区文化祭において餅つきを行う予定です。5年生の保護者のみなさんをはじめ、ぜひ多くのみなさんにご参加いただき、一緒に餅つきをしていただければと願っております。